

【学習活動の概要】

<p>1 単元名 見つめよう 町の未来と自分の未来</p>															
<p>2 単元の目標 自分が住む町の産業や就きたい職業について調べてまとめたり、職業を体験したりする活動を通して、町づくりや職業への関心を高めるとともに、生まれ育った郷土への理解と愛着を深め、働くことの意義や自己の生き方について考えようとする。</p>															
<p>3 評価規準 【課題設定の力】 ・自分が住む町や自分の将来の職業について関心をもち、よりよく生きていくための課題を設定している。 【情報収集の力】 ・課題解決のために必要な情報を、様々な方法によって収集し、効果的に活用している。 【コミュニケーションの力】 ・地域の人や友達と積極的に関わり、力を合わせて活動している。 【自己表現の力】 ・学んだことを整理してまとめ、自分の考えを相手に分かりやすく伝えている。</p>															
<p>4 教材 本単元では、自分が住む町の産業にはどのような特色があるのかを調べるとともに、その仕事に従事している人の思いやこれからの町の未来像を考え、自分は将来どのような職業に就き、社会の一員としてどのように生きていこうとするのかを考えていく。 望ましい職業観・勤労観を育てていく上で、単に職業体験を行うだけでなく、様々な職業に就いている人々の努力によって自分たちの生活が成り立っていることを学んでおくことは大切なことである。 そこで、まず、地域を支えている産業について学び、その上で、自分が就きたい職業について学んだ後で、職業体験を行い、自己の将来を見据えた生き方を見つめてほしいと願い、本単元を設定した。</p>															
<p>5 主な学習活動 (1)単元の展開(全50時間)</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="146 1122 260 1189"></th> <th data-bbox="260 1122 951 1189">学習活動</th> <th data-bbox="951 1122 1422 1189">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="146 1189 260 1301">第一次</td> <td data-bbox="260 1189 951 1301">5つの視点(工業,商業,農業,水産業,観光)から、町の産業の特色や抱える課題をつかみ、未来の町づくりについて考える。(6) ・行政資料等から情報を収集し、課題を設定する。</td> <td data-bbox="951 1189 1422 1301">・PRパンフレット作成の際に、よさを相手に分かりやすく伝えられるように、見出しや表現の仕方を工夫する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="146 1301 260 1525">第二次</td> <td data-bbox="260 1301 951 1525">自分がなりたい職業に就くための道筋を図書室やインターネット等で調べてまとめ、ポスターセッションを行う。(8:本時7・8/8) ・同じ職業を調べたい生徒で3~4人のグループをつくって活動する。</td> <td data-bbox="951 1301 1422 1525">・ポスターセッションを行う際に、単に書いてあることを読み上げるのではなく、発表者も質問者も要点を分かりやすい言葉で述べるよう留意する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="146 1525 260 1659">第三次</td> <td data-bbox="260 1525 951 1659">職業体験を通して、働くことの意義や将来の生き方について考える。(25) ・職場を選択し、職業体験における課題を設定する。 ・3日間の職場体験を行う。</td> <td data-bbox="951 1525 1422 1659">・職業体験先に、生徒自らが事前連絡を行い、適切な言葉遣いで体験活動の実施依頼をする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="146 1659 260 1771">第四次</td> <td data-bbox="260 1659 951 1771">職業体験を振り返り、レポートにまとめ、発表する。(11) ・保護者の参観も可能にした発表会を行う。 ・町の未来と自分の未来について、さらに探究する。</td> <td data-bbox="951 1659 1422 1771">・レポートは、活動の事実を書くだけでなく、働くことに対して感じたことや自己の将来への考えにも触れながらまとめる。発表後は質疑応答を行う。</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	5つの視点(工業,商業,農業,水産業,観光)から、町の産業の特色や抱える課題をつかみ、未来の町づくりについて考える。(6) ・行政資料等から情報を収集し、課題を設定する。	・PRパンフレット作成の際に、よさを相手に分かりやすく伝えられるように、見出しや表現の仕方を工夫する。	第二次	自分がなりたい職業に就くための道筋を図書室やインターネット等で調べてまとめ、ポスターセッションを行う。(8:本時7・8/8) ・同じ職業を調べたい生徒で3~4人のグループをつくって活動する。	・ポスターセッションを行う際に、単に書いてあることを読み上げるのではなく、発表者も質問者も要点を分かりやすい言葉で述べるよう留意する。	第三次	職業体験を通して、働くことの意義や将来の生き方について考える。(25) ・職場を選択し、職業体験における課題を設定する。 ・3日間の職場体験を行う。	・職業体験先に、生徒自らが事前連絡を行い、適切な言葉遣いで体験活動の実施依頼をする。	第四次	職業体験を振り返り、レポートにまとめ、発表する。(11) ・保護者の参観も可能にした発表会を行う。 ・町の未来と自分の未来について、さらに探究する。	・レポートは、活動の事実を書くだけでなく、働くことに対して感じたことや自己の将来への考えにも触れながらまとめる。発表後は質疑応答を行う。
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点													
第一次	5つの視点(工業,商業,農業,水産業,観光)から、町の産業の特色や抱える課題をつかみ、未来の町づくりについて考える。(6) ・行政資料等から情報を収集し、課題を設定する。	・PRパンフレット作成の際に、よさを相手に分かりやすく伝えられるように、見出しや表現の仕方を工夫する。													
第二次	自分がなりたい職業に就くための道筋を図書室やインターネット等で調べてまとめ、ポスターセッションを行う。(8:本時7・8/8) ・同じ職業を調べたい生徒で3~4人のグループをつくって活動する。	・ポスターセッションを行う際に、単に書いてあることを読み上げるのではなく、発表者も質問者も要点を分かりやすい言葉で述べるよう留意する。													
第三次	職業体験を通して、働くことの意義や将来の生き方について考える。(25) ・職場を選択し、職業体験における課題を設定する。 ・3日間の職場体験を行う。	・職業体験先に、生徒自らが事前連絡を行い、適切な言葉遣いで体験活動の実施依頼をする。													
第四次	職業体験を振り返り、レポートにまとめ、発表する。(11) ・保護者の参観も可能にした発表会を行う。 ・町の未来と自分の未来について、さらに探究する。	・レポートは、活動の事実を書くだけでなく、働くことに対して感じたことや自己の将来への考えにも触れながらまとめる。発表後は質疑応答を行う。													
<p>(2)本時の学習 なりたい職業に就くための道筋について、グループでまとめたことをポスターセッションにより報告し合うことで、様々な職業に就くための道筋を理解するとともに、自己の将来の職業選択について考える。</p>															
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>発表する者と聞く者に分かれてポスターセッションを行い、時間を区切って役割を交代する。 発表後に質疑応答を行い、調べた内容についての理解を深める。 ポスターセッションを通して感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。</p> </div>															

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 第3の2の(2)において、「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。

言語によりまとめたり表現したりする学習活動では、分析したことを論理的な文章やレポートに書き表したり、スピーチや説明をしたりすることなどが考えられる。文章やレポートにまとめることは、それまでの学習活動を振り返り、体験したことや収集した情報と既存の知識とを関連させ、自分の考えとして整理することにつながる。

本事例は、自分が将来就きたいと考え、興味・関心がある職業について、図書室やインターネット、インタビューなどにより調査し、ポスターに整理してまとめたことをポスターセッションにより発表し合う場面である。この場面では、グループで調べた職業への道筋を相手に分かりやすく、はっきりと説明する力が求められる。また、発表を聞く側にとっても、発表の内容をしっかりと聞き取り、質疑応答を行うことにより、言語活動を通して学びが深まる学習活動となるようにした。

【言語活動の充実の工夫】 - ポスターセッションによる発表 -

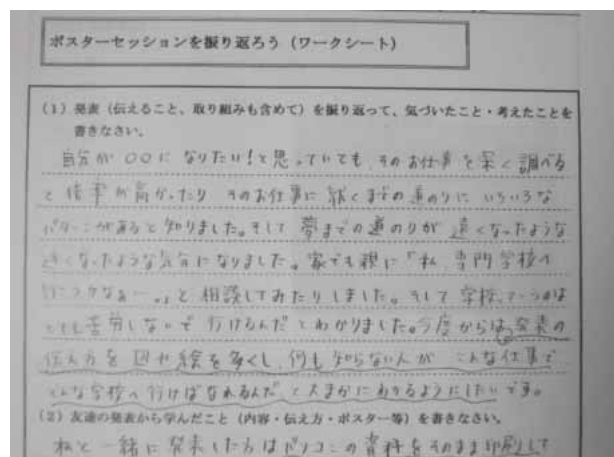
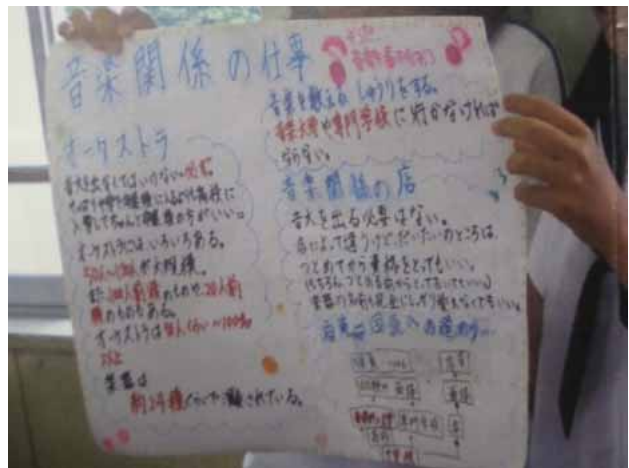
将来就きたいと考えている職業が同じ生徒同士でグループをつくり、調査学習をすることとしたが、グループが大きくなりすぎると主体性を発揮することができなくなってしまう生徒が出てくることが考えられる。このため、多い職種については3～4人程度でグループを組んで学習していくこととした。課題追究をしていく過程で友達と協同的に学ぶことにより、新たな発見をしたり、学びが広がったりすることが多く、本時では少人数グループでの活動が効果的である。

ポスターを作成するに当たっては、見出しを工夫すること、少ない文字で分かりやすく表現すること、絵や図、囲み線などを用いて分かりやすくすること、などに留意するよう生徒に指導した上で活動を行った。

本時では、調査学習を行ったグループ内をA・Bの二つに分け、Aが最初に発表する生徒、Bが最初に発表を聞く生徒とし、前後半で役割を交代することにより、全員が発表することと他のグループの発表を聞くことの両方ができるようにした。

発表する際には、単にポスターに書いてあることや原稿を読み上げるのではなく、要点を整理して、聞く人に分かりやすく、はっきりとした言葉で伝えることが大切である。そのためには、自分たちが調べたことをしっかりと理解していないと、自分の言葉で話すことができない。また、相手に「伝わる」ように語りかけることが重要である。相手に意図が伝わるよう分かりやすいポスターを作成することや分かりやすい話し方を工夫するためには、情報を整理し、伝えたいことを焦点化する作業が伴う。その作業過程において、友達と話し合い、協同的にまとめていく学びがよりよい発表へとつながっていく。

ポスターセッションの手法は、発表する側だけでなく、聞く側にとっても、発表の内容を理解し、質疑応答等による双方向のやり取りをすることによって学びを深めていくことができるものである。聞く側の態度を育てることも、発表による学習の質を高めていくことにつながる。



思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類： ， （ 分類番号は P5 表参照）